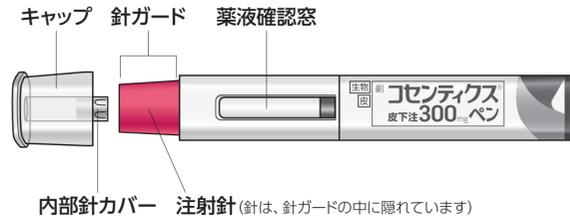


コセンティクス®皮下注300mgペン 投与方法

●本剤を適正にご使用いただくために、以下に記載された事項をお守りください。 ●本剤の投与は、皮下注のみとしてください。

1 コセンティクス®皮下注300mgペンの構造および名称

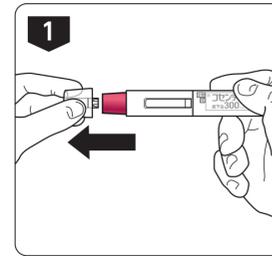
コセンティクス®皮下注300mgペン



⚠ 注意

- ▶ 冷蔵庫(2~8℃)で保管し、凍らせないようにしてください。
- ▶ 本剤は遮光が必要なため、外箱のまま、または外箱から出す場合は遮光して保管してください。
- ▶ 投与する30~45分前に、ペンを冷蔵庫から出し、外箱に入れたまま、もしくは遮光した状態で室温に戻してください。
- ▶ 投与直前に開封し、ペンに異常がない(薬液が無色~微黄色で澄明かつ目に見える異物がない)ことをご確認ください。薬液中に気泡が見える場合がありますが、問題はありません。
- ▶ 小児の手の届かないところに保管してください。
- ▶ 外箱に表示されている使用期限を過ぎている場合は、使用しないでください。

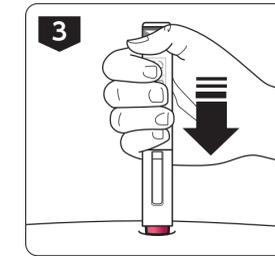
2 投与方法



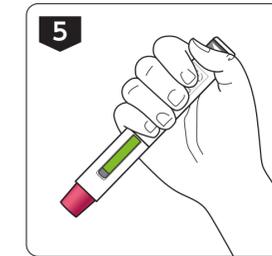
ペンからキャップを外してください。キャップは廃棄してください。

⚠ 注意

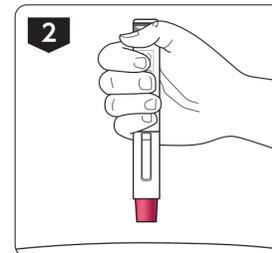
- ▶ キャップは図の矢印の方向にまっすぐ引き抜いてください。
- ▶ いったん外したキャップを再度はめようとししないでください。
- ▶ 投与直前までキャップを外さないでください。キャップを外したら直ちに投与してください。
- ▶ 注射針の先に薬液の水滴が見えることがありますが、問題ありません。
- ▶ 針が内部に入っているため、赤色の針ガードを触らないでください。



ペンをしっかりと皮膚に押し付けてください。一度押し付けると、カチッという音がして、薬液の注入が始まります。ペンは赤色の針ガードをしっかりと押し付け、そのまま動かさないでください。薬液確認窓から見える先端が灰色で黄緑色のインディケーターの動きが薬液の注入状況を示しています。



先端が灰色で黄緑色のインディケーターが確認窓いっぱいに出ていることを確認してください。注射部位に少量の出血がみられる場合、新しいアルコール消毒綿で注射部位を採まずに10秒間押さえてください。必要に応じて絆創膏をご使用ください。

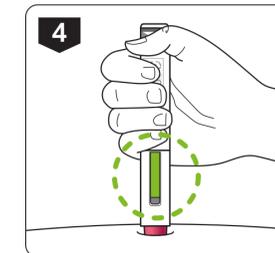


ペンは注射部位に対して直角に当ててください。

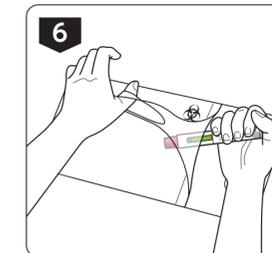
注射部位をアルコール消毒綿で消毒後、ペンを握り、注射部位に対し直角に当ててください。本剤の注射部位としては、大腿部前面、腹部(へそ周囲の約5cmを避ける)、上腕部の外側が適しています。

⚠ 注意

- ▶ 「上腕部の外側」の場合、皮下脂肪が少ない場合は、他の部位への投与を検討してください。
- ▶ 同一箇所へ繰り返し注射しないでください。
- ▶ 皮膚に痛み、傷、赤み、鱗屑がある部位や硬化している部位、瘢痕組織や皮膚線条部位には注射しないでください。



薬液の注入が完了すると、もう一度カチッという音がします。先端が灰色で黄緑色のインディケーターの動きが止まったことを確認したら、ペンを注射部位から離してください。



使用済みのペンは各医療機関の指示に従い、危険のないように廃棄バッグ等に入れ、廃棄してください。ペンは再使用しないでください。